



平成20年千葉市成人の日を祝う会

第4回定例会のあらまし

平成19年第4回定例会が、11月29日から12月17日までの19日間の日程で開かれました。

この定例会では、補正予算および条例の制定など市長提出議案15件、議員提出議案7件(意見書5件)を審議し、討論(賛成11自由民主党千葉市議会議員団、反対11市民ネットワーク、日本共産党千葉市議会議員団)が行われ、工事請負契約(千葉市宮野木町第1団地第一期建替工事事業建築主体工事(BC工区))については、賛成多数により、硫酸ピッチの生成の禁止に関する条例の制定など19件については、全会一致により、原案どおり可決・承認しました。一方、議員提出議案の母子等の家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正など2件については、賛成少数により、否決しました。

また、会派を代表して6人の議員が代表質問を、20人の議員が一般質問を行いました。

可決した主な議案

《予算》

*一般会計補正予算

生活保護の受給者数の増加に伴い、生活保護費を追加するほか、中小企業の資金需要への対応として、資金融資枠の拡大のため、諸収入、国庫支出金などを財源として、合わせて二十四億九千八百万円を追加します。これにより、一般会計の予算総額は、三千六百十三億一千二百万円となります。

*特別会計補正予算

医療制度改革に伴う国民健康保険のシステム改修のため、国民健康保険事業特別会計など2事業会計に、療養給付費等交付金などを財源として、合わせて二億三千万円を追加します。これにより、企業会計を含めた特別会計は三千八百六十億三千万円となります。

《条例》

*千葉市硫酸ピッチの生成の禁止に関する条例の制定

硫酸ピッチを生成段階で規制し、生活環境および自然環境への影響を未然に防止するため条例を制定します。

*千葉市揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための取組の促進に関する条例の制定

光化学スモッグ発生の原因物質の一つである揮発性有機化合物を抑制するため、事業者が自主的に行う抑制の取り組みを促進する条例を制定します。

*特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例等の一部改正

厳しい財政状況を踏まえ、市長の給料月額を10%減額し、副市長、常勤の監査委員、教育長の給料月額を5%減額します。(平成20年1月1日から平成22年3月31日まで)

*千葉市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の資格条件を市内居住者のみから市内に勤務、通学する者に拡大します。

《指定管理者の指定》

文化交流プラザの指定管理者に千葉トリニティ運営事業体を指定します。

代表質問

から

自由民主党

千葉市議会議員団

新年度予算編成について

質問 新年度の財政状況は、極めて厳しい状況とのことである。さらには市債や債務負担行為についても、可能な限り抑制する必要がある。財政取見通しは、可能な限りの財源対策を行っても、約80億円の収支不足が発生する見込みとのことである。

答弁 この収支不足が発生する主な要因はその収支不足を解消するための対応について伺う。

質問 市税収入の大幅な増収が期待できず、基金からの繰り入れや土地売り払い収入など臨時的な収入も多くを望めない。また、市債についても、公債費負担適正化計画に基づき活用を抑制する必要があり、歳入全体で減収が見込まれている。

一方、歳出では、扶助費や公債費などの義務的な経費の増加に加え、少子高齢社会への的確な対応や、安全・安心のまちづくりなどに多額の財政需要が見込まれている。

このため、経常的経費の削減や第2次5か年計画の見直しなどを行う

千葉都心部の

浸水対策について

昨今の異常気象にかんがみて、さらなる浸水安全度を高める対策の推進を要望してきた。特に人口や資産の集積している千葉都心部においては、合流式下水道の改善を併せ持つ中央雨水幹線事業の早期完成を強く望んできたところである。また、多大な予算と長期にわたる工事に、より出来上がった施設も早期に効果を発現させなければ無用の長物となりにかねない。

そこで、中央雨水貯留幹線や中央雨水ポンプ場など対策施設を有効に効果発現させるための具体的な方法や整備時期について伺う。

答弁 具体的には、下水道の吐き口から「霞川」と「ろっぽう水のみち」に排除されている雨水を、



中央雨水貯留幹線

民主党

千葉市議会議員団

市営住宅について

質問 公的賃貸住宅の供給は、公営・公団・公庫という3本柱を中心とした住宅政策により、住宅不足の解消や居住水準の向上などに一定の成果を上げてきた。平成15年住宅・土地統計調査では、住宅数が世帯数を上回っているが、依然として市営住宅への需要は高い状況となっている。今後、市営住宅の適正な管理を行う上で、市営住宅の建設、建て替え、既存ストックの改修およびバリアフリー化対応に努め、地域の多様な住戸に対するニーズにこたえる必要があると考える。

そこで、今後の市営住宅のあり方についてどう考えているのか、また民間住宅活用という視点からの住宅政策について、見解を伺う。

答弁 今後の市営住宅のあり方については、老朽化した市営住宅の既存ストックを建て替え、バリアフリー化による高齢者対応を図るほか、空き住戸の改善などを計画的に行う。また、借り上げ公営住宅制度

公立保育所の民営化について

市は8月に公立保育所のあり方(案)を公表した。市民から多方面にわたり意見が出され、600件以上のパブリックコメントが寄せられている。政策に関する重要な意見がある中、公立保育所そのものの継続を望む意見が多数ある。このことは政策の方向転換を図ったり、市の公立保育所のあり方(案)も含めて直近の関係者として、保護者・行政・保育士の三者による取り組みが必要だと感じるが見解を伺う。

また、これまで公立保育所の問題を集約し、解決に向けて対応してきたのか伺う。

答弁 公立保育所のあり方(案)は、社会福祉審議会児童福祉専門分科会に案を示し、市民の意見を聞くためにパブリックコメントを実施し、審議をしている。この案は、市



保育所の庭で遊ぶ子どもたち

公明党

千葉市議会議員団

財政運営について

自治体の財政破綻を未然に防ぐため、本年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が成立した。新指標で自治体の財政状況の判定を始める平成20年度に向け、対応が迫られている。地方債発行が協賛制となり、許可団体への移行基準として、**実質公債費比率**が用いられており、本市は、18年度決算では24.8%と一般単独事業などが発行制限される25%目前となっている。

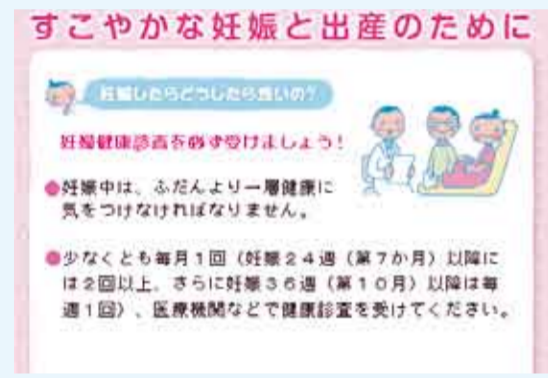
そこで、実質公債費比率の数値を引き下げる方策として、都市計画税を算定の中に入れることが考えられる。分子から元利償還に充当した都市計画税額を引いた場合は、どの位の数値になるのか、都市計画税を算定に入れるべく、関係機関に働きかけをしているのか伺う。

また、市債発行における環境づくりについて本市としても広く地方債の健全性をPRする意味からも格付けを取得しただけでいいか。

妊婦健康診査の

拡大について

今年度、国の交付税措置による妊婦健康診査費用の助成が大幅に拡充され、数多くの市区町村で妊婦健康の公費負担割合の拡大が実現している。交付税不交付団体の本市としては、財源確保に苦勞するところであるが、最近では就業などの理由や経済的な状況で健診を受診しない妊婦が増えているといわれている。



厚生労働省の妊婦健康診査リーフレットより抜粋

日本共産党

千葉市議会議員団

保育所問題について

質問 公立保育所を半分民営化するとは、不安、怒り、批判が圧倒的多数を占めていた。ところが市はこれらの意見が出されても、社会福祉審議会の児童福祉専門分科会を開催し、「保育所のあり方について」を審議後、12月には民営化を決定、公表し、連携保育所と民営化する保育所を選定する予定だった。市民の声を率直に受けとめ、インターネットで回答するだけにとどまらず、関係者に十分な説明責任を果たし、情報公開を求めるかどうか。今ほど、子育て支援が求められている時はなく、市が責任を持って公的な保育を保障すべきではないか。

また、民営化を検討して、老朽化した保育施設の耐震化対策が遅れたことだが、早急に対応を求めるかどうか。

答弁 公立、民間の保育所を問わず、責任を市が負っている。分科会の審議を経て策定する「公立保育所のあ

市民ネットワーク

モノレールについて

市総合交通ビジョンの中で、モノレール事業の青葉病院までの延伸は、需要予測、採算性などが示されていないまま、延伸する方向性が示されている。市は厳しい財政事情の中、第2次5か年計画の大幅な見直しを行い、今後長期にわたる公債費適正化計画などに基づき市債発行は制限していくが、ならない。

そこで、今後の市のモノレール関連の財政的負担額と設備更新は、どのようにするのか。また、第2次5か年計画の見直しによる事業費とスケジュールについて伺う。

答弁 市所有資産の設備更新は、電力管理システム、変電所の圧機、通信線などで、平成43年度までに約90億円、軌道の分岐設備および駅の転落防止床で、30年度までに8億円程度必要と考えている。また、支柱と軌道桁の塗り替え塗装を9年度から1億1千万円から3億円で実施している。これらは安全性、定時性の確保につながる重要なものである。また、第2次5か年計画の見直し



モノレールの軌道桁の塗り替え工事

新政ちば

第2次5か年計画の見直しについて

第2次5か年計画の見直しが行われ、平成18年度から22年度までの事業費を、当初計画の70%程度に削減することになった。見直しに際して、市民生活への影響を十分に考慮し、緊急性、有効性などの観点から事業を厳選し、当初計画策定後の制度改正などにより、新たな対応が必要となる事業についても反映されたか伺う。

そこで、新たな制度改正などに対しては、見直し計画にどのように反映させたか。また、主としてハード事業を中心に、見直し作業が行われているものとするが、ソフト事業については、どのような見直しを行ったのか伺う。

答弁 耐震改修促進法の改正では、運動場の耐震補強などの拡充、保育所や子どもルームの耐震対策などを新たに取組むこととした。また、障害者自立支援関連事業では、地域生活支援事業の中で、計画どおりのサービスを提供した。

文化振興の

今後のあり方について

文化芸術活動は、市民生活に全体を活性化させる大きな力を持っている。本市では、大きな音楽行事として「東京フィルハーモニー交響楽団提携事業」そして「ベイサイドジャズ千葉」を実施している。上質な音楽を多くの市民に楽しんでいるといっているものとして評価している。その中でも特に、世界的に有名な演奏者から直接指導を受けられるジャズボーカル講座や、国内で活躍中のプロの演奏者から市内小中学校吹奏楽部の生徒に個別指導するジャズクリニックのような市内音楽愛好者に対する事業は、大変貴重であり、全国に誇れる事業としてベイサイドジャズ千葉の一層の発展を期待している。



ジャズクリニックの成果を発表するプロとの合同演奏会

り方」は、ホームページ、区役所図書館のほか、公民すべての保育所で閲覧に供するなど情報の公開に努めていく。今後、市民に理解を得られるよう、意見に対する市の考え方を公表していく。

耐震性の低い力所の保育所については本日より、順次、耐震対策に関する保護者説明会を開催する。今後は、現施設の補強と、早期の仮設施設の建設に努める。

学校統廃合について

市は「学校適正配置実施方針」を掲げ、約3年で小中学校を半数にする統廃合計画を進めようとしている。小中学校ともに12から24学級の規模を適正とし、統廃合や学区調整、小中一貫校などを検討している。すでに美浜区では説明会が実施され、保護者、地域から、疑問、不安の声が出されている。

これに対し十分な情報公開や説明責任が果たされていないと思うが、見解を伺う。

また、統廃合が進めば、全体の教員数が減り、教員1人当たりの児童・生徒数が増え、学力向上に逆行することにならないか。

答弁 地元説明会では、どの地区で



花見川第4、第5小学校が統合してきた花島小学校

ソフト事業については、可能な限り計画どおりとすることを基本とし、古紙・布類の資源化や妊婦健康診査の拡充、ことばき大学校の定員増、災害時要援護者名簿システムの整備、中心市街地の情報発信など、ただちに事業効果が期待できるものについては、前倒しでの実施や新たな追加を行うこととした。

質問 パブリックコメントは確実に市民が意思決定過程に参加できる重要な機会であることから、市民の「意見を出したのにな」とも反対

そこで、音楽関係を含め市の文化振興の今後のあり方について伺う。

答弁 計画的に文化行政を推進する「この計画を進めている。今後はこの策定を進めていく。文化行政の体系化を図り、市民が千葉市らしさのある文化芸術に触れ、心豊かな生活を送り、本市の文化に誇りを持っている。文化施策の推進に努めていく。その中で、ベイサイドジャズ千葉や東京フィルハーモニー交響楽団との提携事業をはじめとした音楽振興についても、積極的に取り組んでいく。

千葉市議会 ホームページのお知らせ

千葉県議会 ホームページのお知らせ

ホームページアドレスを変更しました。

<http://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html>

本市議会のホームページでは、会議日程や会議結果、議員名簿などを掲載しています。また、本会議や予算・決算審査特別委員会の様子が生中継や録画放映によりご覧いただけます。お仕事などで市議会を傍聴できない方はこちらをご覧ください。

委員会審査・調査から

常任委員会

12月4日に開かれ、市長提出議案15件、議員提出議案2件、請願4件、陳情5件を審査しました。

その結果、市長提出議案15件は可決・承認となり、議員提出議案の母子等の家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正および心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部改正については否決となりました。

また、請願・陳情は、採択送付3件、不採択3件、継続審査3件となりました。

総務委員会

議案5件を審査し、文化交流プラザに係る指定管理者の指定について、応募者からの提案内容、今後の修繕計画と所要額および指定管理者との負担割合、指定管理者に対し市民意見が反映されるための仕組みづくりなどについて質疑がありました。

特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例等の一部改正について、地域手当や期末手当の



命名権スポンサーを募集した文化交流プラザ

減額措置を実施しない理由と特別職が減額措置を実施することによる職員給与への影響の有無などについて質疑がありました。

保健下水委員会

議案5件、請願2件、陳情4件を審査し、国民健康保険事業特別会計補正予算について、後期高齢者医療制度によるオンラインシステム改修に関し、今後安価な改修経費で済むために最新のシステムに移行することへの見解。制度改正に伴う経費に関し、国への財政支援の要望状況などについて質疑がありました。

また、議員提出の母子等の家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正および心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部改正について一括審議し、県が現物給付の県内統一実施に対して消極的な理由、実施における課題や必要な経費などについて質疑がありました。

▼花見川第一保育所の耐震対策に係る仮設保育所の早期建設を求める請願 採択送付

▼いつでも誰もが安心して医療を受けられるよう国保資格証明書発行の中止を求める請願 不採択

▼千葉市のすべての子どもたちにくきとどいた保育を求める陳情 不採択

▼「公立保育所のあり方(案)」について慎重にするよう求める陳情 採択送付

環境建設委員会

議案5件を審査し、揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための取り組みの促進に関する条例の制定について、自主的取り組みの対象事業者数および施設数。市民および市内事業者の責務の周知方法などについて質疑がありました。

旧新港清掃工場解体工事に係る議

決事件の一部変更について、ダイオキシン類の発生原因、今後、敷地内に有害物質が検出される可能性などについて質疑がありました。



旧新港清掃工場の土壌撤去工事

経済教育委員会

議案2件を審査し、自転車競走実施条例の一部改正について、自転車競技会の統合で合理化が図られることにより、従来の委託料が減額される可能性について。場外車券売場の開設時期と収益の見込みなどについて質疑がありました。

一般会計補正予算中、中小企業金融対策について、融資の件数、貸付先企業に対する経営指導の実施方法、破綻債権の発生状況などについて質疑がありました。

都市消防委員会

議案2件、請願2件、陳情1件を審査し、消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について、各区の団員数とその不均衡への対応策。また、条例改正による増員の見込み、女性団員の増員に向けた取り組み、消防団の結成に向けた企業へのPR活動などについて質疑がありました。

市営住宅宮野木町第1団地第一期

建替事業建築主体工事請負契約について、電子入札の結果、高落札率であったことに対する見解、落札率が高いにもかかわらず適正な入札と判断する理由と検証内容などについて質疑がありました。

加曾利市民の森市有地化の請願

採択送付



消防団の操法大会

▼市街化調整区域の宅地開発に伴う審査基準の改定に関する陳情 不採択

▼市営住宅宮野木町第1団地第一期建替事業(A工区)工事現場における六価クロムの検出について

なお、次のとおり所管事務調査が行われました。

保健下水委員会 *公立保育所のあり方(案)について

都市消防委員会 *市営住宅宮野木町第1団地第一期建替事業(A工区)工事現場における六価クロムの検出について

都市活性化対策調査特別委員会

10月29日に開かれ、中心市街地活性化基本計画などについて協議しました。また、12月21日に開かれ、蘇我特定地区の事業経過などについて協議し、蘇我エコロジパークの現地調査をしました。

一般質問

12月10日から17日までの6日間に20人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。

- 平和を語り継ぐ問題と平和啓発事業について
- 市内で発見された不発弾について
- 土日開庁について
- 効率的な予算編成について
- 大規模災害時における高齢者などの救援について
- 公立保育所のあり方について
- 子供を有情報から守るフィルタリング機能の普及啓発について
- さつきが丘地域のいきいきセンターについて
- 幼稚園児に対する助成について
- ちばし安全・安心メールについて
- 公園の安全と維持管理について
- 地域医療の改善について
- 町内自治会を中心とした地域コミュニティづくりについて
- ユニティづくりについて
- 市原組ほかの談合各社に対する損害賠償請求について
- 自主財源確保の対策について
- 第2次5か年計画の見直しについて
- コミュニティセンターについて
- 加曾利貝塚と縄文の森構想について
- 耐震診断と耐震改修について
- 外郭団体の見直しと補助金の適正化について

可決した意見書

議員提出議案として5件の意見書を審議し、可決しました。可決した意見書は、国会および関係行政機関に提出しました。

- 地方議会制度の充実強化に関する意見書
- 保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書
- 独立行政法人国民生活センターの機能充実を求める意見書
- 原爆症認定制度の改善を求める意見書
- 日豪EPA(経済連携協定)締結交渉に関する意見書



表紙の写真是、1月14日に千葉ポートアリーナで行われた「成人の日を祝う会」に、あてやかな振袖や初々しいスーツ姿で訪れた新成人の方たちです。

市長の励ましの言葉や千葉ロッテのポビー・パレンティン監督のビデオメッセージの激励を受け、新成人たちは20才の門出を喜び合いました。

よりよい紙面作りのため、ご意見・ご要望をお寄せください。 「ちば市議会だより」発行委員会 問い合わせ先 議会事務局調査課 ☎043(245)5472

お知らせコーナー

傍聴のご案内

平成20年第1回定例会は2月25日(月)に開会する予定です。代表質疑、一般質問など本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。第4回定例会では347人の方々が傍聴に訪れました。傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。会議日程は2月21日(木)に決まる予定です。

4月から委員会の傍聴ができます

千葉市議会では、本年4月1日以降に開催する常任委員会、調査特別委員会、議会運営委員会(ただし、請願・陳情審査のみ)の傍聴ができます。詳しくは、議事課(043-245-5468)まで。

会議録の閲覧

本会議の審議状況などを記録した会議録は、市議会図書室、市政情報室、市図書館(中央・みやこ・花見川・稲毛・若葉・緑・美浜)、県立中央図書館で閲覧できます。また、千葉市議会ホームページでも閲覧できます。